



寝屋川市は 歴史の風土を 感じられるまち

門井慶喜さん

市政感謝会で市の功労者として表彰された門井慶喜さんに話を伺いました。門井さんは、「銀河鉄道の夜」などの作品で知られる宮沢賢治とその父・政次郎の物語を描いた「銀河鉄道の父」で第158回直木賞を受賞した市在住の作家です。

「淀川河川公園から見える景色は本当に素晴らしい」

門井さんがまず最初に挙げたまちの魅力は、淀川河川公園の景色でした。創作活動に集中すると目が疲れます。そんなときに、淀川の美しい景色を眺めることで、心が洗われるような気持ちになり、遠くを見ることで目にも良い、と教えてくれました。

門井さんは歴史が好きで、自身の作品でも多くの歴史小

説作品を書いています。

「かつての淀川は京と大坂を結ぶ大動脈で今という新幹線。何気ない日常生活の中でも歴史の風土を感じられます」と話します。門井さんの妻が、寝屋川市史の編さんに携わった三島利三さんの孫といふこともあり、多くの歴史的資料を受け継いでます。そのような縁もあって、歴史深いこのまちなら安心して作品が書けるとのこと。

「このまちが、もっともっと読書が盛んなまちになればいい」

これから寝屋川市はどんなまちになったらいいかの問いに即答でした。「まちから本屋さんが少なくなってしまう、やはり寂しい。もっとまちの中に書店が増え、読書人口が増えて、市民と本や歴史

の話がもっともっとできるようなになればうれしい。読書文化がこのまちにもっと根付くために、私自身も協力します」と力強く語ってくれました。

「1生このまちに住み続けたい」

門井さんは群馬県で生まれ、栃木県で育ち、大学時代は京都に住んでいたこともあったのですが、寝屋川市が一番、と笑いながら答えてくれました。このまちには10年以上住んでいますが最近とてもまちが美しくなったと感心していました。

「歴史は知るだけでは意味がない」

門井さんは、作品を通じて歴史から学び、読者それぞれに人生に生かして欲しいと言います。今回、直木賞を受賞した「銀河鉄道の父」では、家長制度が残る時代の父と子の物語を作家として出し尽くしたとのことで、今後はまた新たなテーマに取り掛かるそうです。

歴史深いこのまちで、今日も門井さんは筆を取っています。





優しい窓口へ!! 遠隔手話通訳・ 外国語翻訳サービス拡充

全シティ・ステーションで利用できるように

市民課などの窓口を設置しているタブレット端末による遠隔手話通訳・外国語翻訳サービスが、香里園・萱島・西・東シティ・ステーション、堀溝サービス窓口で利用できるようになりました。

テレビ電話や外国語翻訳機能を通して、住民票の異動手続き、戸籍の届け出、国民健康保険の各種届け出など、手話を必要とする人や外国人の手続きを支援します。



yonige 凱旋ライブ開催

市出身のガールズロックバンド yonige(ヨニゲ)が、5月27日に行われた、地元凱旋ライブ「寝屋川総取」を前に市役所を訪れ、北川市長に報告しました。

市長は「2人が活躍することで、市のPRにもつながる。さらに頑張ってほしい」とエールを送りました。

ライブでは1,200席が完売し、音楽や地元トークで、大いに盛り上がりました。今後も活躍が期待されます。



有功者や功労者を表彰 市政感謝会

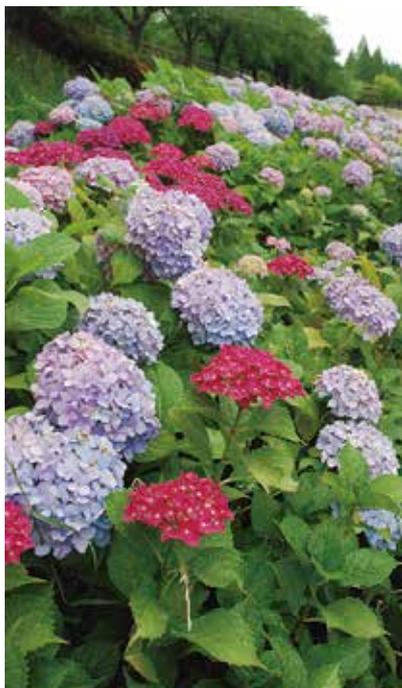
5月26日、市は市政感謝会をアルカスホールで開催しました。

市の有功者3人、市政の発展、教育の推進に功労のあった人など129人(団体含む)に表彰状や感謝状・頌詞を贈呈しました。



クリーンリバー寝屋川作戦・春

5月27日、自然豊かで美しい寝屋川を目指して、市民の皆さんと協力して河川の一斉清掃を行いました。清掃には500人の市民が参加し、約9トンのごみを回収することができました。次回は11月頃開催の予定です。美しい一級河川・寝屋川のために、皆さんの力を貸してください。



咲き誇る あじさい

梅雨の湿気が多い季節、打上川治水緑地では、あじさいが鮮やかな色合いで咲き誇りました。約3,000株が植えられており、毎年美しく公園内を彩ってくれます。梅雨が来るとゆううつな人もいるでしょうが、市内にはこんな楽しみがあります。

梅雨の湿気が多い季節、打上川治水緑地では、あじさいが鮮やかな色合いで咲き誇りました。約3,000株が植えられており、毎年美しく公園内を彩ってくれます。梅雨が来るとゆううつな人もいるでしょうが、市内にはこんな楽しみがあります。



フードドライブ実施 たくさんの食品が集まりました

家庭などで余っている食品を集め、福祉施設などに寄付する「フードドライブ」活動を実施しました。5月上旬から1月間、主に市職員・一部の関係事業者に食品を募集したところ、70キログラム、649個の食品が集まり、集まった食品は、6月には、市内の子ども食堂運営団体4か所及び市社会福祉協議会に提供を行いました。

「もったいない」から「ありがとう」へ。ごみの削減と笑顔広がる地域づくりをみんなで目指しましょう。



きつねさん、お久しぶりです

東部丘陵地に住むUさんの自宅近くで、きつねの親子が仲良く遊んでいました。以前にも同じ場所できつねを見付け、平成21年と22年に広報ねやがわで紹介しましたが、そのきつねの子どもたちかもしれません。

これまで傷付いた親ぎつねを埋葬したことがあるUさんですが、新しい世代がまた顔を覗かせてくれたことをうれしく思い、そっと見守りたいと話しています。



高齢者の見守りで 郵便局と連携協定締結

6月4日、市内の全27の郵便局と高齢者の見守りに関する連携協定を締結しました。

郵便物の配達などで地域と接する機会が多い郵便局と協定を締結することにより、異変があったり、何らかの支援を必要としている高齢者などを早期に発見して支援を行っていきます。